

日本香粧品学会

第46回 教育セミナー プログラム

新しい日常における肌、体と香粧品の役割

ご挨拶

新型コロナウイルスとの共存を強いられている昨今、我々の生活様式も激変しました。手指アルコール消毒の励行、マスクの常時着用はもちろん、行動・移動の制限、リモート会議推奨などにより家庭、職場環境に変化が生じ、種々のストレスの増加により、我々の肌や心にも様々な変化が生じています。この時代だからこそ未病対策、健康維持としてのマイクロバイオームの活用も注目され、人々の美に対する意識も変化してきています。

今回のテーマは『新しい日常における肌、体と香粧品の役割』です。セミナーではコロナ禍におけるニューノーマル時代の肌トラブル、心のトラブルの現況、そしてそれらに対する防止策、改善策をスキンケア、メンタルケアという観点から香粧品が果たす役割を含めた最近の話題を、各分野のエキスパートの先生方にご講演いただきます。

今年の教育セミナーも昨年同様、参加者、スタッフの新型コロナウイルス感染リスクを考慮してのWEB開催になりますが、11/4 から4日間のオンデマンド配信ですので自由な時間での聴講や繰り返し聴講も可能です。ぜひ今回、ニューノーマル時代における肌と心の変化、問題点や対応策を知っていただき、with コロナ、after コロナ時代における新たな香粧品の開発に役立てていただきますことを祈念いたします。

学術委員長 森脇 真一

日本化粧品学会 第46回教育セミナー プログラム

1. 精神的ストレスと皮膚
羽白 誠 (はしろクリニック)
2. 新しい日常における肌、体と化粧品の役割
～新しい日常生活で生じた顔と手の障害～
関東 裕美 (東邦大学)
3. 皮膚・体の健康に与える常在細菌叢の役割
中島 沙恵子 (京都大学)
4. @cosme からみた、新しい日常における生活者の美容意識の変化
西原 羽衣子、原田 彩子 (株式会社アイスタイル)
5. リモート顔とマスク顔 —新しい日常におけるメイクアップの役割—
米澤 泉 (甲南女子大学)
6. 皮膚感覚と心
山口 創 (桜美林大学)
7. ストレス・疲労に対する香りの効果について
福田 早苗 (関西福祉科学大学)

開催概要：WEB 開催 (オンデマンド配信：2021年11月4日(木)～11月7日(日))

参加費： 会 員 12,000 円
非会員 17,000 円
学生会員 1,000 円 (要学生証提示)
学生非会員 2,000 円 (要学生証提示)

* ご所属が賛助会員の場合、個人会員と同じく12,000円でご参加頂けます。

* 詳細はHPをご覧ください。

参加申込方法：

参加申込開始：2021年9月1日(木) 予定
郵便振替、クレジット決済
学会ホームページ(<http://www.jcss.jp/>)にて

※一旦払い込まれた参加費は払い戻しできません。

連絡先：

日本化粧品学会 教育セミナー事務局
〒162-0801
東京都新宿区山吹町358-5
アカデミーセンター
TEL. 03-6824-9367
FAX. 03-5227-8632
E-mail. jcs-semi@bunken.co.jp

POINTS OF INTEREST!

精神的ストレスと皮膚 [羽白 誠 先生]

精神的ストレスは皮膚に何らかの影響を及ぼすことが少なくない。また皮膚が調子悪いと気分も優れないことも多い。基本的には条件反射であると考えられるが、その詳細なメカニズムはまだ明らかではない。今回は精神的ストレスが皮膚の機能などに変化をもたらす状態などを現時点でわかっている範囲で解説し、アトピー性皮膚炎をはじめとする代表的な皮膚疾患とストレスとの関係の解説を行う。

新しい日常における肌、体と香粧品の役割 ～新しい日常生活で生じた顔と手の障害～ [関東 裕美 先生]

世界的な COVID-19 流行に対し自粛生活を強いられた私達の日常生活は、未だに自由を取り戻せない状況である。感染防御目的にうがい、頻回の手洗いと消毒、マスク着用が皆の生活に定着してきたが、それに伴う様々な障害もある。皮膚障害として冬季乾燥時期には手湿疹悪化やマスク装着に伴うトラブルを、発汗時期にはマスクによる痒みやにきびを訴え患者が受診する。コロナ禍での皮膚障害の現状を紹介しその対策について考えてみたい。

皮膚・体の健康に与える常在細菌叢の役割 [中島 沙恵子 先生]

皮膚表面には多数の細菌、真菌、ウイルスなどの微生物が共生し、皮膚特有の集団を構成しており、皮膚常在微生物叢（マイクロバイオーーム）と呼ばれる。皮膚マイクロバイオーームのバランスの変調は“ディスバイオーシス”と呼ばれ、アトピー性皮膚炎をはじめとする様々な炎症性皮膚疾患の病態に関与している。本講演では、皮膚マイクロバイオーームが皮膚および体の健康に与える影響について紹介する。

@cosme からみた、新しい日常における生活者の美容意識の変化 [西原 羽衣子 先生、原田 彩子 先生]

コロナと共に生きる新しい生活様式のなか、生活者の化粧品購入や美容意識に、どのような変化をもたらしたのか。化粧品への興味が高い20～40歳代の女性が多く利用する、日本最大の化粧品・美容の総合サイト「@cosme」からは、市場データからは見えてこない生活者の気持ちを垣間見ることができる。いま人気の商品にみられる共通点や、商品を選ぶ際の想い、そして今後。約1,700万件に及ぶ@cosmeのクチコミや商品数34万点のデータベース、さらにユーザー調査の結果を用いて紹介する。

POINTS OF INTEREST!

リモート顔とマスク顔

—新しい日常におけるメイクアップの役割—

[米澤 泉 先生]

コロナ禍によりデジタル化された「顔」を介して人とコミュニケーションすることが当たり前になった。一方で、私たちは対面で出会うマスクに覆われた「顔」にもはや違和感を覚えなくなりつつある。ディスプレイ上のリモート顔と生身のマスク顔という新しい顔様式においてメイクアップに対する意識や捉え方はどのように変化したのか。コスメアプリと化粧品が競い、ヴァーチャルとリアルが融合するポスト「コスメの時代」の顔編集「私遊び」について考えたい。

皮膚感覚と心

[山口 創 先生]

皮膚感覚は心と密接な関係を持つ。心の状態が皮膚に影響を与える一方で、逆に皮膚の状態が心に影響を与えるという因果関係もある。特に皮膚への心地よい刺激は、幸福感や親子の愛着にも関わるオキシトシンの分泌を促し、さらに皮膚のバリア機能にも影響を与えていることもわかってきた。セミナーでは、皮膚、オキシトシン、心の3者の関係について紹介し、皮膚から幸福感を高めるための方法について考えてみたい。

ストレス・疲労に対する香りの効果について

[福田 早苗 先生]

新型コロナウイルス感染症の流行により、何らかの疲れやストレスを感じている人も多いのではないのでしょうか？コロナ下において香りの意義はますます高まっているといえます。日本人の約6割が元々疲れを感じているといわれていますが、「疲れ」とは何か、またどうすればいいのか？については意外に知られていませんよね。また、香りは疲れやストレスに効果があるといわれていますが、証明するのは意外に難しいものです。どうして難しいのか、何が明らかにできると更に香りの活用が進むのか含めてお話しします。